

「支えてくれる仲間と元気でがんばる子どもたちがいるから、私もがんばられる」と語る滑川富美子さん。



みのり新体操クラブ 代表

## 滑川 富美子さん

みの~れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ

No.04

毎週月・水・金・土曜、主に堅倉小体育館で活動している「みのり新体操クラブ」。①幼児クラス②初級クラス③低学年クラス④高学年クラス⑤選手クラスに分かれており、全般的に指導するのが滑川富美子さん。毎年クラブ挙げての発表会をみの~れで行い、満員で賑わっている。

## 発表通して 団結力を

「小さいときは、教室で絵を描いているのが好きなおとなしい子でした。運動ができないと思いついていた自分を変えてくれたのは、外で一緒に遊んでくれた小学三年の時の担任。この出逢いがきっかけで体育会系へ一変、中学では器械体操部に入学した。ダンス経験者の顧問の先生から新体操への道を薦められ、高校から新体操を始めると、毎年インターハイに出場するまでに成長。日本女子体育大学へと進むことになる。「体育会系の挨拶と礼儀を叩き込まれました」と語る大学時代。一日約八時間の練習を積んだ。

子育てでしばらく現場から離れていたが、五年前

に近所の子どもたちを対象に「みのり新体操クラブ」を始めた。みるみるうちに増え、現在は七六名。

この大所帯を運営するにあたり、滑川さんと共に指導にあたる先生方の存在が大きいという。「精神的支え。この人たちがいなかったら運営できません。『天然』の私の面倒を本当によくみてくれていると思います。ありがたい存在です」。

忘れてならないのが、「毎回必ず発表会には観に来てください。一言一言が自分をプラス思考にさせてくれる」夫と、「きつと淋しい思いと我慢をたくさんさせていると思う」愛娘。二人に見守られているからこそ今の仕事を続けられる、と感謝している。年に一度、クラブ挙げての発表会を間近に控えての忙しい日々。「練習が別た

けど、一緒に頑張っている同じクラブの仲間という意識をみんなに持ってもらい、発表会を通してクラブの団結がもつと固くなった嬉し」と語る。あつたかい発表会にしたい、という想いでこれまでも毎年続けてきた。

一〇年後の夢。「クラブで育った子たちが戻ってきて嬉しいな」

今回のテーマは「四季」。  
賛助出演団体を含め、  
約120名が出演する。



10月14日@ 13:30開演  
入場無料 (先着順)